



## ☆ 休息と娯楽と の巻 ☆

当ワーカーは長崎駅から20分ほど離れた西泊<sup>にしどまり</sup>という入江で生まれました。呼子を十分の一ほどに縮めた小さな、今でも何もない、市営の渡し船で長崎に渡る町でした。

海が大好きで、毎日、岩場でカニを捕まえ、浜の石で水切りをして遊びました。

後に水産高校で生物を教えたのは自然の流れでした。いつかの授業で体の中に海があると教えました。動物が陸に上がった太古の海水と同じ濃さの水です。人が海を眺めると心が落ち着くのは、体の中に海があるからであり、どんなに進化しても人間も基本的には動物なのだ、と。

☆

あなたは休みの日に何をしますか？

一日中ダラダラと、食べては横になる、それが最高の休日？人間も動物の一種だから、他の動物と同じようにじっとしているのが休息なのでしょうか。

もちろん人にも体を休める時間が必要です。休息だと言って長時間眠っても、疲れが取れない事、ありませんか？反対に運動で汗を流してスッキリする事もあるでしょう。

日常の疲れを取るには休息とともに娯楽が、心がワクワクする時間が必要なのです。

★

無心で遊ぶ子は疲れを知りません。どうしてでしょうか…。汗だくになって遊び、一息

入れるとまた走り出す。不思議でなりません。

「(前略)遊ぶ子どもの声聞けば、我が身こそすれゆるがるれ」という古い謡<sup>うた</sup>があります。子どもの遊び声に、自分もソワソワすると言うのです。おとながああ勢いで走り回ったら、いったいどうなる事やら…。

☆☆

学校で友だちと遊べない、そんな不登校の子がいます。もしかすると、楽しく遊べなくなって不登校になったのかも知れません。

そんな子もデジタルのゲームでは遊びます。たしかに、スマホゲームでもワクワクします。でも、遊びのワクワクとは違うように感じます。何度やっても同じでまるで「作業」のように感じられます。暇つぶしにはなっても、いつまでも終わらず、終わっても疲れるばかりだと感じます。

外で友だちと遊ぶ事が難しい時代になりました。退屈だろうとスマホを、ゲーム機を買い与えるおとながいるようですが、本当に子どものためでしょうか。

子どもの心を自分に引き付けておくため、つまり買収ならば、もしかすると子どもの将来に影響するかも知れません。どうか、与える前にもう一度考えてみてください。

